


平成29年コシヒカリ栽培こよみ

みな穂農業協同組合
黒東地域農業技術者協議会

4月		5月		6月		7月		8月		9月		10月	
生育期区分	4/10 浸種	4/23 播種	育苗期	5/15 田植期	活着期	有効分げつ期	無効分げつ期	7/13頃 幼穂形成期	穂ばらみ期	8/5頃 出穂期	登熟期	9/13頃 成熟期	
水管理			やや深水 浅水管理			間断かん水		飽水管理		湛水管理		間断かん水	

①土づくり

- 〇珪酸質資材の継続的な施用
- 〇珪酸ケイフン・堆肥の積極的な施用
- 〇ゆっくると耕起（作土深目標20cm確保）



〇ていねいな代掻き（田面の均平を図る）

②5月15日中心の田植


- 〇浅水管理で初期生育確保
- 〇坪当り70株植え・植付本数3〜4本

〇軽い田干しや水の入れ換え

③溝切り、中干し

アオモヤ「ワキ」を抑える

- 〇田植後1ヶ月後を目安に開始
- 〇中干し後の間断かん水



④幼穂形成期以降の飽水管理

- 〇畦畔・雑草地等の草刈り（一斉草刈り）
- 〇出穂7日前頃に必要に応じて追加穂肥

⑤穂揃期の葉色を高める

⑥病害虫防除

⑦出穂後20日間の湛水管理


※かけ流しは絶対にやめましょう

⑧適期刈取


- 〇刈取の5〜7日前までかん水
- 〇フェーン時は速やかに入水

〇適正な乾燥調製

〇籾黄化率85〜90%で刈取



〇次年度に向けて秋耕



土づくり資材施用量

- ①シリカロマン 120kg
- ②こめこめ大地 120kg
- ③珪酸石灰 160kg
- ④アサヒニューテツ 160kg
- ⑤珪酸ケイフン（粒）75kg（春施用）

苗箱施薬

播種同時 又は 田植3日前〜当日

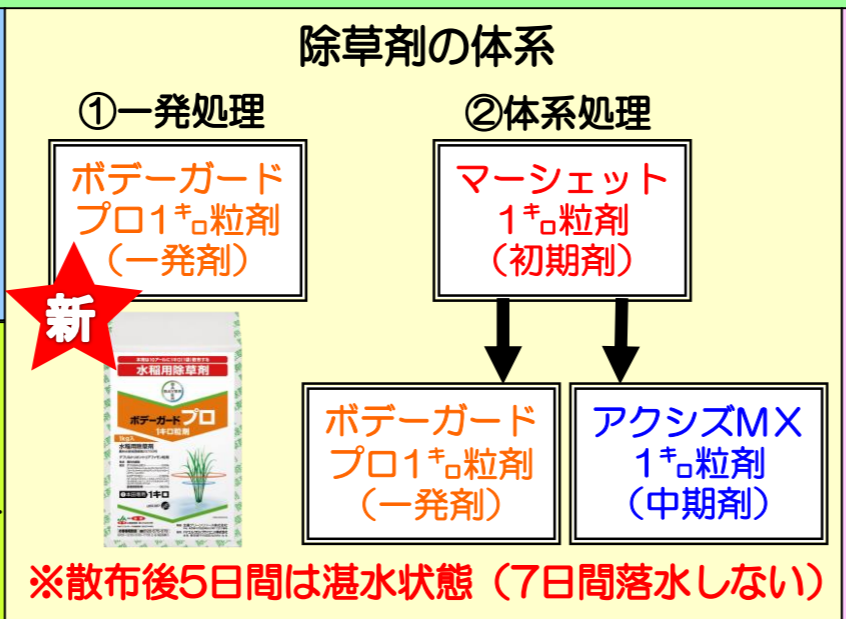
ルーチントレス箱粒剤 50g/箱

※除草剤と間違えない

適正な基肥施用量

側条一発肥料の場合

コシヒカリ1号 又は 2号 38kg/10a



病害虫防除

1回目：出穂直前

ミックジョーカーバリダ粉剤DL 4kg/10a

いもち病・紋枯病・カメムシ・ニカメイチュウ等

2回目：穂揃期

ラブサイドキラップ粉剤 4kg/10a

いもち病・カメムシ等

※畦畔にも薬剤がかかるように散布

深耕

秋耕と春耕の2回掛け

①稲ワラの腐熟促進 → 春先の「ワキ」を防止

②作土深目標20cm確保 → 根域拡大、整粒歩合向上